

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ジャノメチョウ	タテハチョウ科	大型の代表的ジャノメ	X	X	X	全国の平地～山地の草原

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
ススキ、ヒカゲスゲほか				1		幼虫					



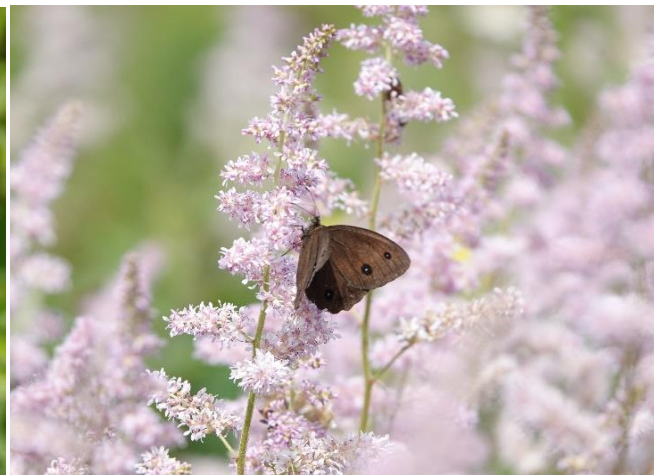
長野県南佐久郡 7月下旬 アザミの葉上で開張



長野県入笠山 8月中旬 ハクサンフウロで吸蜜



長野県入笠山 8月中旬 マツムシソウで吸蜜



長野県入笠山 8月中旬 チダケサシで吸蜜

全国的に分布していて、多摩川河川敷にもいるとのことを聞きますがこの周辺で見たことはありません。暗い林の中を好むジャノメが多いのに対して本種は明るい草地を好み、平地～山地の草原で葉上にとまったり、訪花し吸蜜する姿がよく見られます。

イネ科のススキ、カヤツリグサ科のヒカゲスゲなどを食草としますが、母蝶は他の蝶のように食草に卵を産み付けるのではなく、食草近くの草上から一卵ずつ地面などに産み落とします（放卵）。孵化した幼虫は食草に這い上がって成長し、蛹化に際しては、他のタテハチョウが木の枝その他にぶら下がる（垂蛹と呼ばれます）のに対し、地面に転がったまま蛹化してしまうという特異な習性を持っています。



長野県南佐久郡 7月下旬



長野県南佐久郡 雨 7月下旬